

# 第1回浪江町復興検討委員会 議事概要

1. 日時 平成23年10月19日(水) 13:00～16:15

2. 場所 福島県男女共生センター 第2研修室

## 3. 出席者

### 【委員】

鈴木浩委員長(兼第2部会長)、吉岡副委員長(兼第3部会長)、丹波第1部会長、櫻井委員、高橋委員、山本委員、高田委員、佐々木久雄委員、今野委員、稲田委員、佐々木保彦委員、菊池委員、松本伸一委員、叶谷委員、松本茂子委員、原田委員、石田委員、戸川委員、佐藤隆委員、佐藤博美委員、橋本委員、泉田委員、坂委員、御代委員、松本孝徳委員、上野委員(副町長)

### 【事務局等】

馬場町長、谷田企画調整課長、玉川企画調整課主幹

## 4. 議事

### (1) 全体会(1)

- ①検討委員会の概要について
- ②復興ビジョン策定方針の概要について

### (2) 部会審議

- ①自己紹介・復興に向けた想いの報告
- ②策定方針「5. 策定にあたっての検討方向」に関する議論

### (3) 全体会(2)

部会報告及び全体討議

## 5. 議事概要

冒頭、委員の委嘱と委員長・副委員長の指名及び馬場町長からのあいさつを行い、その後以下の議事が進められた。

### 1. 全体会(1)について

事務局より、資料4に基づき、検討委員会の概要と復興ビジョン策定方針の概要について説明した後、質疑を行った。その際の主な意見は以下の通り。

- ・復興も大切だが、現在の避難生活を乗り切るための手段も入れないと保たない。
- ・復興以前に、我々の訴えたい想いを大事にして、結集すべき。

## 2. 部会審議について

部会長指名のあと、各部会に分かれて、各委員の復興への想いを基に、復興ビジョンの理念と基本方針について議論した。

## 3. 全体会(2)について

部会での議論を基に、各部会長より報告を受け、全体で議論を行った。各部会報告と全体討議の内容は以下の通り。

### 【第1部会】

- ・除染、若年層の帰還、雇用をどうするというのが問題。
- ・町民の想いを受け止めて、浪江町への帰還だけでなく当面の暮らしの再建も同時に考えていく必要がある。
- ・子どもの意見も聞くべきではないか。

### 【第2部会】

- ・放射能が最大の関心事であり、原子炉の状況等が不明なのが不安の原因であるから、保安院・東電等に説明させるべき。
- ・避難先でも徐々にコミュニティを作っていく必要がある。
- ・今回の原子力災害では、避難の仕方(逃げ方)の周知がうまくできていなかった。
- ・双葉地区の他の市町村との連携も必要。

### 【第3部会】

- ・年代、地域によって考え方が違うので、複数のビジョンに分けてもいいのではないか。
- ・ただ「帰れる状況」ではなく、「働ける、生活ができる状況」にしないと帰れない。
- ・避難先での生活に関することや農地の荒廃防止のような、すぐにやるべきこともある。やれることからやっていくように、年次を切ったビジョンがあるとよい。
- ・言い回し等も工夫し、町民の心に沿ったビジョンとなるようにすべき。

### 【全体討議】

- ・保安院・東電を呼んでもありきたりな話しかでないのではないか。
- ・マスメディアに協力してもらおう等しつつ、我々の気持ちは伝えていきたい。
- ・現在役場のある二本松市や、多くの避難者がいる福島市・いわき市との連携も考えるべき。
- ・部会形式だが、多くの委員と話すべく、細分化や委員の配置替えも考えてほしい。

## 6. その他

次回は平成23年11月11日(金)13:00からの開催を予定。

以上  
(速報のため、事後修正の可能性あり)